

## 令和6年度「わたしの提案」 受付実績、提案・回答

区分	受付件数
まちづくり・道路・防災・防犯	99件
公共施設	86件
福祉・医療・子育て	70件
教育・文化・環境	74件
商工業・観光	13件
行政一般・その他	80件
	422件

令和6年度は、422件の提案等をお寄せいただきました。

提案者に回答したもの183件のうち、所管部署が電話や面談で説明をしたものは141件、文書回答したものは42件で、「わたしの提案実施要綱」により、広く市民の皆様に周知すべきと判断したものを公表します。

(1) 内容については、個人情報を除き編集した上で公表していますので、ご了承ください。

(2) 回答については、提案当時の内容、課名となっています。

なお、名前や住所など回答に必要な情報の記載がなく、本人が回答の希望をしていない239件については、所管部署において検討のうえ、必要に応じて対応しています。

### まちづくり・道路・防災・防犯

川原にバスケットゴール設置希望について	2
シェアサイクリングサービスの導入について	3
相模川河川敷の有効活用について	4
渋滞の緩和等について	4
井戸の設置について	6
みまもりGPSについて	6
最小限で最大限の防犯対策について	7
厚木インター付近に展望タワーを建設について	8
道の駅について	8

### 公共施設

文化会館一階ロビーの椅子等について	9
夢と期待の市庁舎複合ビルに万全の基礎工事と震災対策等について	10
大型遊具のある公園の整備について	11
つつじ公園にドックランを設置について	11
庁舎跡地活用について	12
毛利台スポーツ広場の利用について	12

### 福祉・医療・子育て

障害者の市営駐輪場の減額について	13
高齢者タクシー助成とかなちゃん手形選択制度の見直しについて	13
高齢者のペット飼育について	14
男性のHPVワクチン助成について	15
小学校の朝の開門時間について	15
子育てNo.1都市になる政策子供救急車提案について	16
子供の熱中症対策について	17
学童保育待機児童達の人命救助について	17
幼稚園や保育所等の給食費について	18

## 教育・文化・環境

中学生の登下校時帽子や日傘推奨、給水設備、教科書の重さや部活道具について	18
中学生・高校生の登下校時の帽子・日傘使用について	19
安全に配慮した冬季の防寒着の着用、夏季の帽子着用について	20
通学助成金について	21
EV車用急速充電器の設置について	21
ジモティースポットを厚木市にも導入してほしいについて	22
こどもたちが山桜や楓などを種や二葉から育成し、植樹する活動について	22

## 商工業・観光

地域のスーパー要望について	23
厚木の果物のブランディングについて	23
ももクロ春の一大事について	25

## 行政一般・その他

郵送書類の窓口での直接受け取りについて	25
市の鳥について	26
ヒメアマツバメ保護をPRするあゆコロちゃんとのコラボマンホール蓋の設置について	26

## ●まちづくり・道路・防災・防犯

標題	川原にバスケットゴール設置希望について
提案の趣旨	<p>相模川の川原の広場にバスケットゴールの設置を希望します。</p> <p>厚木市にはバスケットゴールの数が少なく、バスケット人口も少なくなっていると思います。バスケットゴールがないと自習練習のメニューが限られてしまいます。</p> <p>私は、バスケットがもっと上手になりたい、高みを目指したいと思っています。</p> <p>このことからバスケットゴールの設置を強く希望します。よろしくお願ひします。</p>

回答	<p>現在、市では、荻野運動公園体育館（中荻野）、ハイウェイパークあつぎ（愛甲西）、宮前公園（愛甲）、大谷公園（みはる野）、ぼうさいの丘公園（温水）などにバスケットゴールを設置しており、今後は酒井地区での設置も予定しています。</p> <p>河原へのバスケットゴールの設置は、河川法によって厳しい制限が設けられており、設置に向けては、河川管理者との協議、地元自治会や隣接住民の方々の御意見を考慮する必要がありますが、バスケットボールの愛好者が気軽に練習できる施設の整備について、河原の広場も含めて検討していきます。</p> <p>今後は、頂いた御意見を参考にしながら、多くの皆様がスポーツを楽しめる環境づくりに取り組んでいきます。</p>
担当課	スポーツ魅力創造課、公園緑地課

標題	シェアサイクリングサービスの導入について
提案の趣旨	<p>厚木市では、鉄道駅が2つしかなく、市内を移動する場合に車かバスに頼らざるを得ない状況にあります。</p> <p>そこで、シェアサイクリングのポートを市内の公園や市役所、公民館等の施設に誘致し、市内の移動の足として選択肢を増やしていただきたいです。自転車ですので、市内の渋滞問題、そして環境問題にも優しく、また災害時にも強い移動手段になります。</p> <p>近隣の市ではかなりの数のポートがあり、とても利用しやすく充実している状況にあります。厚木市内では現在4ポートしか無く、また市内のポートで自転車が枯渇している事も多いため、需要もかなりあると思われます。</p> <p>最近発生した震度5の地震の時も、小田急線が運転を見合わせた際、他市ではシェアサイクルを利用している光景を多々見掛けました。何かトラブルがあった際の強力な移動手段の選択肢としてあれば良いと強く思っています。</p>
回答	<p>シェアサイクルについては、民間事業者による導入が順次進んでいる状況にありますので、状況を注視するとともに、市有地へのサイクルポートの設置検討をはじめ、事業が円滑に展開されるよう、自転車の専用通行帯の路面標示を行うなど、側面支援を行っているところです。</p> <p>自転車活用については、環境保全や市民の皆様の健康増進などの効果が期待されるとともに、災害時においても有効な交通手段となると認識していますので、いただいた御提案を参考にしながら、シェアサイクルの導入について研究していきます。</p>
担当課	くらし交通安全課、都市計画課

標題	相模川河川敷の有効活用について
提案の趣旨	<p>①小田急線から見える斜面に植物で絵図を描くと、厚木の玄関口として車中の人の興味を引くと思います。（例）芝桜であゆコロちゃんの絵や花火の絵</p> <p>②相模川ローズガーデンにオーナー植栽部分を作ることを提案します。数坪のガーデンを希望者に期限付きでガーデニングしてもらおうと、バラ園が華やかになると思います。</p>
回答	<p>①小田急線から見える斜面について</p> <p>一級河川相模川については、県が管理者として維持管理を行っていますが、河川法によって制限が設けられていることや斜面部分は増水時には護岸として水没する可能性もあることから、植栽等を実施することは困難であると認識しています。</p> <p>しかしながら、相模川河川敷斜面は小田急線電車内からの眺めが良いことから、御提案を参考にさせていただき、市のシティーセールスにつながる活用について検討していきます。</p> <p>②相模川ローズガーデンについて</p> <p>相模川ローズガーデンについては、市と河川愛護団体など関係団体が協働して育成管理を実施しており、毎年、初夏にはローズガーデンフェスティバルが開催されるなど、市民の皆様にも喜んでいただいているところです。</p> <p>今後についても、御提案いただいたオーナー植栽など、より市民の皆様親しんでいただけるよう、相模川ローズガーデンに関係する団体と相談しながら、管理運営方法を検討していきます。</p>
担当課	河川下水道総務課、河川下水道施設課

標題	渋滞の緩和等について
提案の趣旨	<p>1 渋滞の緩和について</p> <p>昭和橋は、平日毎朝、通勤時間と夕方の帰宅時間に混雑が生じています。渋滞緩和の為、橋を二車線にするや右左折レーンを設けるなどして渋滞の緩和をしてほしいです。</p> <p>2 東海道線及び新幹線とリニアを結ぶ路線について</p> <p>厚木市には線路が無いに等しく、本厚木駅周辺しか発展が見られません。交通の便が悪くて車が無いと生活が出来ません。</p> <p>そのため、橋本駅～平塚駅までを結ぶ新路線を提案します。途中、東海道新幹線への乗り入れ出来る新駅があり、129号線沿いにあると便利。一部、または全部地下鉄にすることで周辺への影響も避けられます。実現すれば、厚木市のさらなる人口増加及び129号線周辺の移住者の増加と発展が見込まれます。</p>

	<p>3 依知周辺エリアの活性化について</p> <p>猿ヶ島スポーツセンター横ポンプ施設の地上に複合施設の建設を提案します。</p> <p>依知周辺にはスーパーが無くて相模川を渡るか 129 号に出るかしないで行けません。建設する複合施設には医療機関やスーパーまたはスーパー銭湯などが入れば相模原市からもお客を呼び込めると思います。</p> <p>さらに、複合施設の前に相模原市とつなぐ新たな橋を掛ければもっと便利になると思います。複合施設と本厚木駅や海老名駅へのバス路線もあればもっと良いです。</p>
回答	<p>1 渋滞の緩和について</p> <p>県道 508 号の昭和橋については、県が所管していますので、御要望の内容を県厚木土木事務所にお伝えするとともに、今後についても交通混雑の緩和に向けた広域的な道路ネットワークを構築するため、国や県と連携しながら引き続き取り組んでいきます。</p> <p>2 東海道線及び新幹線とリニアを結ぶ路線について</p> <p>市を南北に縦断する鉄道敷設等については、平成 28 年 4 月、交通政策審議会の答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」において、小田急多摩線の延伸（唐木田～相模原～上溝）が位置付けられており、更なる延伸を検討する場合には、本区間の整備の進捗状況を踏まえて行うことが適当であるとされています。</p> <p>さらに、令和 4 年 3 月に改定された「かながわ交通計画」には、小田急多摩線の愛川・厚木方面への延伸が新たに位置付けられていますので、市を含む相模原市、愛川町及び清川村で組織する「小田急多摩線の延伸促進に関する連絡会」において、調査研究を進めているところです。</p> <p>今後も引き続き、国の交通政策審議会において、上溝からの延伸が位置付けられるよう、近隣自治体と共に取り組んでいきます。</p> <p>また、本厚木駅から平塚方面については、新たな鉄道敷設等の計画はありませんが、引き続き、交通幹線である既存路線バスの運行環境を改善し、定時性・速達性を高めるなど、交通機能の強化に努めていきますので、御理解くださるようお願いいたします。</p> <p>なお、いただいた御意見は、今後、広域的な交通体系を検討する際の参考とさせていただきます。</p> <p>3 依知周辺エリアの活性化について</p> <p>御提案いただいた猿ヶ島スポーツセンター付近については、市街化調整区域となっており、市街化を抑制する地域であることから、原則、建築物の立地は制限されています。</p> <p>しかしながら、国道 129 号線沿いで第一鮎津橋より北側の市街化区域でスーパー、ドラッグストア、診療所などの生活利便施設が不足していることは認識していますので、依知周辺地域については、新規出店や開院に係る補助制度を設けることで、地域における生活利便性の向上に取り組んでいるところです。</p>

	<p>現在は補助制度の周知徹底を図っており、関心を示された事業者には直接制度の説明をし、依知周辺エリアにスーパーなどの生活利便施設を誘致できるよう努めていきます。</p> <p>今後についても、新規出店等をする事業者の支援に努めるとともに、高齢者や子育て世代などの誰もが地域で暮らし続けることができる「人にやさしい都市」を目指していきます。</p>
担当課	都市計画課、道路総務課

標題	井戸の設置について
提案の趣旨	<p>能登半島地震を始め、地震が続いています。新聞の記事で、被災地の皆様が、井戸があることによって、どんなに助かったか記載されていました。</p> <p>厚木市も考えてほしいです。ペットボトルの貯蓄には限界があります。公園に井戸を掘ってほしいと思います。</p>
回答	<p>井戸については、大規模災害の発生時に生活用水の確保として効果的な手段であると認識しています。</p> <p>市としては、市民の皆様の御自宅に設置してある井戸を災害時に御提供いただけるよう呼び掛けを行っており、現在、市内で約 200 箇所の御協力をいただいています。</p> <p>また、100 トンの貯水ができる耐震性貯水槽を公園や小・中学校に 7 基設置し、水源の確保を行うだけでなく、市内民間企業に御協力いただき、災害時における井戸の利用や飲料水の提供についての協定を締結しています。</p> <p>今後についても、井戸の設置や企業との協定締結を推進するなど、引き続き、防災・減災対策に取り組んでいきます。</p>
担当課	危機管理課

標題	みまもり GPS について
提案の趣旨	<p>昔に比べて、共働き世代がはるかに増えました。この状況を鑑みて、厚木市の更なる子育て支援策として小中学生にみまもり GPS を配布しカバンにつけてもらうのはどうでしょうか。</p> <p>他の市への差別化としても有効だと思いますので、検討をお願いします。</p>
回答	<p>市では、児童・生徒が安心安全に登下校できるよう、新入学児童及び希望する生徒へ防犯ブザーを配布しているほか、地域、関係機関等による見守り活動を行っています。</p> <p>また、不審者等の防犯対策については、本厚木駅周辺や市内各小・中学校の通学路等への見守りシステム（防犯カメラ）の設置、青色回転灯を搭載したパトロ</p>

	<p>ール車による市内の巡回パトロールを実施するとともに、近隣の小・中学校や関係機関と情報共有を行い、児童・生徒の安全確保に努めています。</p> <p>みまもり GPS 端末の配布については、児童・生徒の居場所を把握することができるとはありますが、保護者の意向やプライバシーへの配慮が必要となります。また、学校管理下以外での運用方法、維持管理費用等の課題があり、現時点では実施していませんが、いただいた御意見を参考に、今後も安心安全な子育て環境の整備に努めていきます。</p>
担当課	くらし交通安全課、学務課

標題	最小限で最大限の防犯対策について
提案の趣旨	<p>住宅侵入の犯罪が増えていますが、見回りをするにも時間帯を考えると厳しいと思いますし、各自防犯対策グッズを買ってもまちまちです。</p> <p>また、被害に遭った時に声を出すというのも、恐怖で出せない、高齢で大声が出ない方もいらっしゃると思いますし、声を聞いたからといって 110 番を躊躇する事もあると感じています。</p> <p>そこで、高齢者世帯や一人暮らしの方など狙われやすい方に防犯ブザーの所持の呼び掛けと、防犯ブザーの音を聞いた人は躊躇わずに 110 番の呼び掛けを強化することを提案します。</p> <p>被害にあった時にブザーを使うことで、室内なら会話ができないほどの音で近隣に知らせる事ができますし、余裕があればブザーを外に投げて音が籠らない分、さらに近隣に知らせやすく犯人にブザーを止められる事もなくなります。</p> <p>一番重要なのは、ブザー音を聞いた人が躊躇わずにその場で 110 番できるかなので、警察の方と連携して「ブザー音、聞いたら直ぐに 110 番」のようなポスターや講習会でブザー＝110 番の意識付けができればと思いますし、防犯に取り組む地域なんだと見せ付ける事でも防犯に繋がると思います。</p> <p>こういった一つの決め事をすれば判断しやすくなると思います。</p>
回答	<p>近年、高齢者宅を狙った空き巣や強盗が増えており、市においても、防犯に関する取組として、本厚木駅周辺等に 70 台、市立各小・中学校の通学路に 42 台、合計 112 台の防犯カメラを設置しており、今年度は、公民館、公園、児童館などの公共施設への設置を進めています。</p> <p>防犯ブザーについては、大音量を鳴らすことにより、不審者の撃退や周囲に非常事態を知らせるなど、防犯対策の一つとして有効なものと認識しています。</p> <p>市としては、防犯ブザーの携帯を呼びかけるとともに、防犯ブザー音を聞くなど不審な状況を把握した場合又は事件や事故、犯罪の現場を目撃した場合には、躊躇せず警察へ通報するよう、あらゆる機会を通じて周知啓発しているところです。</p> <p>今後についても、安心して暮らせる防犯のまちの実現に向けて、厚木警察署と連携し、市民の皆様の防犯意識の高揚に取り組んでいきます。</p>
担当課	くらし交通安全課

標題	厚木インター付近に展望タワーを建設について
提案の趣旨	<p>厚木の観光は温泉、里山、山岳部に偏っています。そこで、この地域からの眺望が観光のもう一つの柱になれば厚木のポテンシャルは更に大きくなると確信します。</p> <p>そこで、厚木南インター付近に展望用のタワーを建設する案はどうでしょう。</p> <p>ここに道の駅やドッグランなど人々がゆったりと過ごせるグランドパークを作れば、一帯を県央の観光拠点にすることができます。さらに、拠点化した当該地区に新交通(モノレール)を本厚木駅から敷設する。</p> <p>将来的にはこのモノレールは本厚木駅、インター・タワー地区を通り平塚アウトレット、四之宮・球場辺りを經由して平塚駅まで延伸させる。</p> <p>この計画から鉄道の延伸や、将来的にはこのモノレールを国道 129 号沿いに相模原方面まで延伸させれば、現在道路しかない県央南北を貫く大動脈ができる。という構想が続きます。</p> <p>今、こうした種を蒔いておけば 30 年後、50 年後に市の事業計画をするうえでも多様な選択肢が取りやすくなるのではないのでしょうか。</p>
回答	<p>厚木・厚木南インター付近への展望用タワーの建設及び観光拠点化については、新規に大規模な建築物等を建設する用地の確保などの様々な課題はございますが、今後の拠点づくりに向けた素晴らしい御提案であると認識しています。</p> <p>また、モノレール開発については、過去に導入の可能性について調査した結果、導入空間の課題や輸送力に見合う需要が見込めないなどの理由から、検討が見送られた経過があります。</p> <p>現在、市内の交通については、既存公共交通の更なる活用を中心とした施策を推進していますが、県において、次世代の交通システムである自走式ロープウェイ「Zippar (ジッパー)」についての調査研究が進められていることや、自動運転やデマンド交通など、地域交通や移動に関する技術革新が進んでいることを踏まえ、新交通システムの情報と併せ、常に動向を注視しているところです。</p> <p>今後についても、いただいた御提案を参考にしながら、機会を捉え、新たな交通システムの導入の可能性について研究するとともに、本市に留まることなく、厚木、秦野、伊勢原、愛川、清川の 5 市町村で構成される県央やまなみ協議会においても、新たな観光資源の創出と磨き上げを行い、魅力あるまちづくりを推進していきます。</p>
担当課	商業観光課、都市計画課

標題	道の駅について
提案の趣旨	<p>厚木市には沢山の高速道路や有料道路の出入り口がありますが、ただの通過点でしかなく、大勢の方を集客出来る施設が少ないと思います。</p> <p>そこで、東名厚木インター出入り口に付近にある広大な土地を利用し、そこに道の駅を作ることを提案します。道の駅が神奈川県を中心となり放射線的(ハブ)に広</p>

	<p>がりを見せ、色々な場所と繋がり、それらがまた厚木に帰って来ます。予想される経済効果は数十億で、厚木市の知名度が上がり、最終的には川崎や横浜に並ぶと思います。</p>
回答	<p>東名高速道路厚木インターチェンジ付近については、厚木市都市計画マスタープランにおいて、インターチェンジに近接した立地条件を活かした多様な産業の集積や地域の交流の場づくりを推進し、都市や地域の活力を生み出す土地利用を推進する場所として定められています。</p> <p>御提案の場所に道の駅を設置することについては、新規に大規模な建築物を整備するための費用や用地の確保など様々な課題があるため、現時点では難しい状況ですが、地域の活性化にもつながると認識していますので、今後の土地利用の参考といたします。</p> <p>今後についても、本市の都市づくりの目標である「誰もが快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができる“人にやさしい都市”」を目指すとともに、新たな観光資源の創出と磨き上げを行いながら、あつぎ愛と誇りを抱いてもらえる魅力あるまちづくりを推進していきます。</p>
担当課	商業観光課、都市計画課

## ●公共施設

標題	文化会館一階ロビーの椅子等について
提案の趣旨	<p>文化会館の一階ロビーに椅子を増やしてほしいです。私たち老人は、楽しみにして行っても、ロビーで立って待つと、楽しみも半減し、疲れてしまいます。</p> <p>また、いつも楽しく図書館を利用しています。お借りした本の返却についてですが、本厚木駅に返却ボックスを置いてもらえると大変助かります。他の駅で見かけたので、本厚木駅にもあると嬉しいです。</p>
回答	<p>文化会館については、ロビー等がさほど広くないことや、催事によって利用形態が異なることから、椅子の設置可能数には限りがありますが、予備の椅子をお出しすることも可能ですので、お気軽に職員にお声掛けいただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、今回の改修工事では、椅子の形状や数を見直すとともに、移動も可能なものにし、ホールのホワイエなどを含め、椅子を御利用いただける方が10人程度増えるよう改修しています。</p> <p>また、図書館については、中央図書館に返却ポストを設置しているほか、公民館や愛甲石田駅連絡所、移動図書館で図書の貸出し・返却の対応を行っています。</p> <p>御提案いただいた本厚木駅への返却ポストの設置については、図書館が本厚木駅の近くに立地しているため、現在は設置していませんが、同様の御意見も寄せられていることから、運用面における課題を整理するなどの検討を行っていますので、引き続き、利用環境の向上に努めていきます。</p>

担当課	中央図書館、文化魅力創造課
-----	---------------

標題	夢と期待の市庁舎複合ビルに万全の基礎工事と震災対策等について
提案の趣旨	<p>テレビ番組で、「軟弱地盤と杭基礎のせい弱性、ビル倒壊（能登地震）」が放映されていました。現在、市庁舎を含む素晴らしい複合ビルが着工され、市民は大きな期待を寄せています。しかし、厚木も地理的には相模川等の太古からの流域・河川堆積地帯であり、他所ごとではないと思われます。絶対に安全なよう、二重、三重の万全の基礎工事、防震・防災対策工事を講じてほしいと思います。</p> <p>また、以前にテレビ番組で、4年前のハリケーンで半分程度の窓ガラスが破損した 22F ビルが、一瞬にして爆破解体された映像が放映されていました。事務処理棟として使えないとなれば、爆砕処理ということになるのでしょうか。</p> <p>今の複合ビル基礎工事の段階で、軟弱地盤では杭基礎を固い地盤に何本も深く打ち込んでも、上層部分の地盤の軟弱化で杭基礎諸共転倒してしまうことが判明しました。</p> <p>そして、基礎だけでなく、これから、地球温暖化の影響により、一層強化が心配されている米のハリケーン並みの強大台風対策も、米 22F ビル爆砕処理を教訓に学ぶべきと思われます。</p> <p>基礎と地上も、万全の防災対策を講じさせて、絶対に震災や暴風雨等に負けない強じんな夢の市庁舎「複合ビル」を竣工してほしいと思います。</p>
回答	<p>複合施設については、災害対策本部機能を有する市庁舎と消防本部を一体整備し、市民の皆様の生命や身体、財産を守る災害時の中枢拠点と位置付け、その役割を果たすために万全の備えをする必要があると考えています。</p> <p>御提案いただいた基礎工事については、詳細な地盤調査を実施した結果、軟弱地盤の地下 20 メートル付近に存在する堅固な地盤については、建物を支持する地層とし、建物基礎が接する軟弱地盤には、大規模な建物の建築に適した地盤へ改良する工事を実施します。また、地盤から伝わる地震の揺れを吸収するため、免震装置を建物地下 1 階に設置し、耐震安全性を確保した万全な施設とします。</p> <p>さらに、「複合災害」に対応することも想定しており、1000 年に 1 度の発生頻度となる洪水災害に対して、免震装置が浸水しないよう地盤のかさ上げや止水壁を設置し、洪水災害時に大規模地震が発生した場合にも、免震安全性を確保します。</p> <p>台風等への対策としましては、本体構造に加え、サッシ等の外装材についても、100 年に 1 回の発生頻度となる暴風に対し、脱落等が生じないよう安全性を確保した設計を行っています。</p> <p>今後についても、市民の皆様に安心して御利用いただけるとともに、有事には災害対策の中枢機能を果たす施設となるよう、万全を期して事業を進めていきます。</p>
担当課	市街地整備課

標題	大型遊具のある公園の整備について
提案の趣旨	<p>市内で遊べる大型遊具のある公園がぼうさいの丘公園くらいしかなく不便です。荻野運動公園の遊具は古いので、近隣の公園にわざわざ子どもを遊ばせるために行っています。公園を早急に整備してほしいです。</p>
回答	<p>市の公園遊具については、市民の皆様が安心して安全に利用できるよう、「公園施設長寿命化計画」に基づき、老朽化した遊具の更新を行っています。</p> <p>依知北地区においては、下川入菁莪公園の複合遊具を令和4年度に更新しており、御指摘いただいた荻野運動公園の複合遊具については、幅広い年齢の子どもたちがより安全に楽しく遊べるよう、今年度に更新を予定しています。</p> <p>また、山際地区については、防災機能を有した（仮称）北部地区公園の整備を予定しており、多くの方々が訪れたいくなる魅力的な憩いの場となるよう、遊具の設置を含めて計画を進めています。</p> <p>今後についても、御提案も参考にしながら、市民の皆様が安心安全で快適に公園を利用できるよう、より一層の魅力向上を目指し、公園の整備や適正な維持管理に努めていきます。</p>
担当課	公園緑地課

標題	つつじ公園にドッグランを設置について
提案の趣旨	<p>冬になると、公園利用者がゼロに近いので、有効利用するためにドッグランを作ったらどうでしょうか。</p> <p>また、利用者のためにベンチを増やしてほしいです。</p>
回答	<p>つつじの丘公園については、四季を通して自然を楽しめる公園として、つつじの丘や遊歩道、自然散策道などを整備し、多くの方に御利用いただいています。</p> <p>ドッグランの設置については、多目的広場内に設置することが考えられますが、多目的広場はイベント開催等でも使用していることや、ドッグランを設置することによって利用に制限が掛かること等から、現時点では難しい状況ですが、今後の施設運営の参考とさせていただきます。</p> <p>また、ベンチの増設については、利用状況等を考慮しながら検討していきます。</p> <p>今後についても、市民の皆様が快適に公園を利用できるよう、公園の整備や適正な維持管理に努めていきます。</p>
担当課	公園緑地課

標題	庁舎跡地活用について
提案の趣旨	<p>立川市の旧庁舎をそのまま活用したマンガ図書館を参考に、市庁舎跡地を利用して、名作マンガなど大人も楽しめるようにしてほしいです。</p> <p>いきなり活字を読めと言われるより、名作マンガなどからレベルの高い本につながっていきやすくなると思います。私の母はスーパー銭湯が好きで、いろいろなところを利用するのですが、どこも今どきのマンガしか置いておらず、さびしい思いをしているようです。</p> <p>高齢者も楽しめるマンガを気軽に読める場所はなかなかありません。</p>
回答	<p>本庁舎敷地の跡地活用については、市の様々な計画への位置付けや、現在の中心市街地及び本庁舎敷地周辺におけるまちづくりの課題、市民アンケート調査や意見交換会などによる市民の皆様の御意見、本市の附属機関である厚木市本庁舎敷地跡地等活用検討委員会からの提言などを踏まえ、検討を進めてきました。</p> <p>このような経過から、今年3月に策定の厚木市本庁舎敷地跡地等活用基本方針においては、プロスポーツのトップリーグ開催などを通じた「みるスポーツ体験」や、高いエンターテインメント性を持つアーティストによる音楽イベントなどを楽しんでいただくことのできる多目的アリーナを本庁舎敷地跡地に導入する方向性をお示ししています。</p> <p>御提案いただいた漫画図書館については、現在、整備の計画はありませんが、漫画は、本に触れるきっかけづくりとして、また、学習や趣味、レクリエーション等に役立つ資料でもあることから、中央図書館及びネットワークを結んでいる9つの公民館図書室において収集、所蔵しています。</p> <p>また、現在、整備を進めている新たな図書館においても、漫画を配架する計画となっているほか、令和7年度においては、市制70周年記念事業として友好都市の秋田県横手市にある「まんが美術館」に収蔵されている漫画家の作品等を展示する「横手市増田まんが美術館厚木出張所」を開催します。</p> <p>今後についても、幅広い年代の方が気軽に立ち寄り、楽しんでいただける図書館運営に努めていきます。</p>
担当課	企画政策課、行政経営課、中央図書館

標題	毛利台スポーツ広場の利用について
提案の趣旨	<p>毛利台スポーツ広場に前まで設置されていたサッカーゴールは、なぜ撤去されてしまったのでしょうか。</p> <p>サッカーゴールが設置されていると、友人らと楽しくサッカーをすることができ、練習にも効果的です。利用者も増加すると思うので、再度サッカーゴールの設置をお願いしたいです。</p>
回答	<p>毛利台スポーツ広場については、過去にサッカーゴールが設置されていたことは承知していますが、雨水を調整する役割があることから、撤去した経緯があり</p>

	<p>ます。</p> <p>今後は、常設ではない簡易的なサッカーゴールを設置するなど、毛利台スポーツ広場を利用する皆様の利便性が高まるよう、関係機関と調整しながら検討していきます。</p> <p>最後になりますが、頂いた御意見を参考に、これからも多くの皆様がスポーツを楽しめる環境づくりに取り組んでいきます。</p>
担当課	スポーツ魅力創造課

●福祉・医療・子育て

標題	障害者の市営駐輪場の減額について
提案の趣旨	<p>厚木市の市営の駐輪場では現在、障害者手帳を持っている人は料金の割引が半額ですが、近隣では全額免除をしている市があります。厚木市でも全額免除にして欲しいです。</p>
回答	<p>公共施設の使用料については、全ての市民の皆様が公平に利用できるよう、使用の方としない方、現在の利用者と将来の利用者との間で負担が公平になるよう継続的に見直しを行い、料金を設定しています。</p> <p>市における市営自転車等駐輪場の使用料については、障がいのある方などの経済的負担の軽減や社会参加の促進を図ることを目的に特例措置として減免制度を設けており、障がい者手帳をお持ちの方が定期利用をされる場合については、50%を減免としています。</p> <p>御提案いただいた全額免除については、他市の事例なども参考にしながら検討していきます。</p> <p>今後についても、全ての市民の皆様に公平な公共施設の運営に努めるとともに、福祉の充実による住みやすいまちの実現に向けて、取り組んでいきます。</p>
担当課	行政経営課、くらし交通安全課

標題	高齢者タクシー助成とかなちゃん手形選択制度の見直しについて
提案の趣旨	<p>本年度、タクシー助成を受けました。今まではかなちゃん手形で週一度の外出を心掛けてきました。</p> <p>買い物した折のタクシーは有り難いと思い選びましたが、外出は極端に減るでしょう。かなちゃん手形の100円の外出は有り難いです。</p> <p>広報あつぎのかなちゃん手形助成と高齢者タクシー助成について、高齢者の外出後押し、気軽に外出できる環境の充実、自立した生活を続けることが目的として記載されていましたが、この趣旨であれば、タクシー助成とかなちゃん手形助成を減</p>

	額しても、80才を超えたら両方使える制度とできないのでしょうか。私の場合、厚木市の目的とは違った生活になると思います。
回答	<p>近年の研究において、外出の頻度や積極的な社会参加は、介護予防につながるといわれていることから、市においては、外出のきっかけづくりや社会参加の促進等を目的に、かなちゃん手形の購入費や高齢者等がタクシーを利用する場合の費用の一部を助成しています。</p> <p>かなちゃん手形については、より多くの皆様に自立した生活を続けていただけるよう、今年度から1年券の購入費助成額を拡大するとともに、高齢者タクシー助成については、日常生活での移動に支障をきたす方が増えていることから、令和5年12月に対象要件と助成額を拡大しました。</p> <p>御提案いただいた選択制の見直しについては、他の助成制度とのバランス等を考慮しながら、機会を捉えて制度の拡充を図っていきます。</p>
担当課	福祉総合支援課

標題	高齢者のペット飼育について
提案の趣旨	<p>市内の高齢者で犬猫を飼われている方は多いと思います。それぞれ老後の生きがいとしてのペット飼育、またペットの老後も考えての飼育と思いますが、何らかの事情で飼育者の方の不幸により、取り残されたペットが悲惨な状況も有ると聞きます。それらを無くすため、高齢者の老後の慰めのペット飼育を市として管理していただきたいです。</p> <p>市内高齢者の現状管理とペット飼育高齢者のサポートとして、里親制度のように登録していただき、毎月少額でも積み立てて運営費の一助とし、高齢者が病気等でペットの散歩が出来ない場合の代行システムも有料で扱い、市としては全体の把握、実務は現状あるボランティア団体などに業務委託するのも一つの案として良いかなと思います。是非、高齢者が老後の安らぎとしてペットと安心して暮らせる市の実現を希望します。</p> <p>この支援を行うことで、市内の一人暮らし高齢者も含めペット飼育の高齢者の現状把握と、ペットの多頭飼の把握、指導と撲滅ができると思います。</p>
回答	<p>飼い主には終生飼養の義務があり、動物がその命を終えるまで責任を持って飼養に努めるよう動物の愛護及び管理に関する法律で規定されています。やむを得ない理由で飼えなくなった時のために、飼い主は自ら、動物が安心して暮らせる環境を用意する必要があると認識しています。</p> <p>御提案いただいた高齢者の動物飼育の管理や飼育のサポートについては、動物の登録管理の難しさや、費用や寿命など飼養に関する個人の対策及び飼養責任に係わる問題であることから、市での管理は難しい状況です。</p> <p>しかしながら、少子高齢化や核家族化が進む中、飼い主の高齢化によりペットの飼育が困難になるなどの課題が生じていることも承知していますので、今後につい</p>

	<p>ても、動物の飼い主に対して適正飼養管理についての周知を行うとともに、広く動物愛護に関する啓発を行い、動物愛護精神の推進に努めていきます。</p> <p>また、ペットの保護や新しい飼い主探し等を行っているボランティア団体等との連携についても、模索していきます。</p> <p>なお、ペットの多頭飼育については、平成31年3月、神奈川県動物の愛護及び管理に関する条例が改正され、10頭以上の犬や猫を飼育する場合は、県への届出が新たに義務となり、県厚木保健所が対応しています。</p>
担当課	生活環境課

標題	男性のHPV ワクチン助成について
提案の趣旨	<p>厚木市は子育てしやすい街や住みたい街の上位になっている。たしかに様々な制度があり、子育て世帯はとても助かっている。</p> <p>しかし、どうしても足りない部分があると思う。</p> <p>男性のHPV ワクチンの助成である。現在は対象年齢の女性にしか公費で接種ができない。男性は全額実費である。都内では多くの自治体が助成を開始しているが、神奈川県はどこの自治体も助成をしていなかった。</p> <p>今後、厚木市の更なる発展や住みやすい街として宣伝するためにも男性のHPV ワクチンを助成してはどうか。</p> <p>厚木市が神奈川県で初めて助成をしたとなれば宣伝にもなると思う。全額でなくて一部でも良い。女性だけのものではなく、男性(男児)も助成することで性別による差別も無くなるのではないか。</p>
回答	<p>男性へのHPV ワクチン接種については、現在、国において、定期予防接種化について議論がされているところです。</p> <p>令和6年3月に開催された国の委員会では、有効性、安全性は一定程度認められるものの、費用対効果には課題があるとされており、薬事承認の状況を含め、様々なデータが新たに得られるなど、前提条件が変われば、更に議論を行う必要があるとされました。</p> <p>市としましては、ワクチンの安全性を含め国の動向を注視していくとともに、いただいた御提案を参考にしながら、研究していきます。</p>
担当課	こども家庭センター

標題	小学校の朝の開門時間について
提案の趣旨	<p>こどもが保育園の時は、保育園を利用して仕事に行っていましたが、小学校に入学してからは、保育園に比べて登校が遅い為、出勤時間に間に合わず、時短勤務や退職するなど、働き続けるのが難しい方がいると思います。</p> <p>親が先に入社し、こどもに鍵をかけさせることは、犯罪に巻き込まれる可能性が</p>

	<p>あり危ないので、他市で行われている「小学校の朝の開門時間を7時から」を厚木市でも取り入れてほしいです。</p> <p>予想される効果としては、保育園から小学校に入学する時の働き方を変えることなく仕事を続けられることや、今までより早く出勤できることにより、子育て世帯の仕事を選ぶ幅が広がります。</p> <p>また、朝1人になるこどもがいなくなり、学校で友だちと過ごせるのでこどものためにも良いと思います。</p> <p>他の場所から引っ越しなどを考えている共働き世帯にとって、朝の開門時間対策をしてきている厚木市はとてもプラスだと思います。</p>
回答	<p>市立各小学校の朝の開門時間については、基本的に午前8時としており、朝の預かりが必要な場合には、育児の援助を受けたい方(依頼会員)と行いたい方(提供会員)が会員となる、ファミリー・サポート・センター事業を御案内しています。</p> <p>午前7時からの開門については、児童の安全確保や実施に向けた体制づくり等の課題があり、現時点では実施していませんが、いただいた御意見を参考に子育て環境の更なる充実を図るとともに、こどもたちが安心安全に過ごせる朝の居場所づくりに向けて関係部署と連携を図りながら研究していきます。</p>
担当課	こども家庭センター、学校施設課

標題	子育てNo.1都市になる政策子供救急車提案について
提案の趣旨	<p>こどもの急病に対し、保育園、幼稚園は受け入れません。病児保育園は診断書がないと受け入れず、結局親が仕事を休むなどすることになる。従って、主に母親は定職、正規社員に就きにくく、収入を高く安定化できない。</p> <p>提案する政策は、「子供救急車制度」を作り、親は朝出勤前に電話して、こどもを預けるだけ。新制度担当者が引き取り、親から指定されたかかりつけ医院に連れて行き、その後、病児保育園等に引き渡し看護してもらう。新制度担当者が適時、親に現状を報告し、親は安心して働ける。</p> <p>こども対応への責任問題は、「Best Efforts 契約」を採用する。内容は、新制度担当者が規定業務に責任を持って対応するが、その後の病変等で最悪の状況になった場合、過失がない限り親は裁判等訴訟をしないことで担当者の安心を担保する。</p> <p>期待される効果としては、1. 親の行動が、こどもの急病に制約を受けない、2. 親の仕事の継続、正規社員など高収入安定化に寄与する、3. 他県からの移住者が増え、街の消費も増え市の税収アップに寄与する、4. 制度が定着すると、企業が移ってきたり、新規事業が増え、市の税収がアップする。</p>
回答	<p>市においては、病気の回復期には至っていないものの、当面の症状の急変が認められず、家庭で療養できる程度のお子さんを対象に、一時的に預かる病児保育を行っています。</p> <p>令和5年4月1日からは、市にある病児保育施設に加え、協定を締結した海老名</p>

	<p>市、座間市、綾瀬市、大和市、愛川町及び清川村にある病児保育施設も利用することができるようになっていきます。</p> <p>また、病児の受入れについては、麻しん、風しん等の感染症や施設ではケアが難しい場合など、症状によってはお預かりできないことがあるため、医師による診断を必要としています。</p> <p>御提案いただいた「子供救急車提案」については、お子さんをお預かりし医師による診断を受けた結果、病児保育の利用の許可が得られなかった場合の対応など、様々な課題があると認識しています。</p> <p>今後においても、御提案の内容を参考にしながら、病児保育制度の研究に努め、より一層の子育て環境の充実に向けて取り組んでいきます。</p>
担当課	保育課

標題	子供の熱中症対策について
提案の趣旨	<p>先日、温暖化で外で遊べなくなったこどもたちのために、幼稚園で大型サンシェードを設置し、こどもたちが安心して外で遊べるようにしたという記事を見つけて、厚木市でも、こういう対応をなるべく全部の園や小学校等で出来ないかと思いました。</p>
回答	<p>近年の気候変動の影響により年々暑さが過酷となっている状況を踏まえ、市においても、熱中症対策は重要な課題として捉えています。</p> <p>市内の保育所においては、熱中症警戒アラートが発表された場合、屋外や空調機器が設置されていない屋内での運動や活動等の実施・中止の判断を行うほか、市立小・中学校においては、「厚木市立小・中学校熱中症対策ガイドライン」を策定し、学校の規模等の実情に合わせた熱中症予防と熱中症対策に取り組んでいるところです。一例として、本年6月に開催された厚木第二小学校の運動会では児童の応援席にテントを設置しました。</p> <p>校庭等に大型サンシェードを設置することについては、設置する場所等に課題があることから、現時点では予定していませんが、頂いた御意見を参考に、効果的な熱中症対策について研究していきます。</p> <p>今後についても、園児や児童・生徒の健康と安全を最優先に考え、これまで以上に熱中症対策に取り組んでいきます。</p>
担当課	保育課、学務課

標題	学童保育待機児童達の人命救助について
提案の趣旨	<p>異常な酷暑が続き、大人は市営クーリングシェルターで熱中症防止に努めております。ところが、新聞等でも心配されていますが、放課後学童保育の待機児童の安全確保が求められています。</p>

	もし、厚木市でも待機学童が生じているのであれば、即刻市のクーリングシェルターに避難させて、こどもたちを熱中症から守ってほしいです。
回答	<p>近年の気候変動の影響により、年々暑さが過酷となっている状況を踏まえ、市としても、熱中症対策は重要な課題として認識しています。</p> <p>熱中症特別警戒アラート発表時には、重大な健康被害が生じる恐れがあることから、保健福祉センターや公民館等の18施設をクーリングシェルターとして開放するとともに、市立小・中学校においては、熱中症の予防等について、児童・生徒への指導を行うなど、必要な対策を講じています。</p> <p>また、こどもたちが誰でも利用できる場として、38館の児童館を開放しており、小学校においては児童館だよりを配布するなど、利用の周知等を行っています。</p> <p>市内の公設の放課後児童クラブにおいては、現在、いくつかの小学校にて待機児童が発生している状況ですが、小学校の余裕教室等の改修等を行い、受け入れ児童の拡大に努め、放課後児童の安心安全な生活や保護者が安心して就労できる環境等の整備を目指して取り組んでいます。</p> <p>今後についても、いただいた御意見を参考にさせていただきながら、児童・生徒の健康と安全を最優先に考えた取組を行っていきます。</p>
担当課	こども育成課、青少年課、環境政策課、教育指導課

標題	幼稚園や保育所等の給食費について
提案の趣旨	小・中学校の給食費は無料だと聞きました。幼稚園や保育所等の給食費は無料にならないのでしょうか。
回答	<p>幼稚園や保育所の給食については、義務教育である小・中学校とは異なり、幼稚園や保育所を利用する児童と利用しない児童との公平性の確保が困難であることから、保育料の無償化が実施されている現在も、保護者の皆様に御負担いただいています。</p> <p>今後については、いただいた御意見や他市の事例も参考にしながら、保護者の皆様の負担軽減に努めるとともに、更なる子育て環境の充実に取り組んでいきます。</p>
担当課	こども育成課、保育課

### ●教育・文化・環境

標題	中学生の登下校時帽子や日傘推奨、給水設備、教科書の重さや部活道具について
提案の趣旨	6月頃から湿度と共に暑さも増し、学校の方針で登下校時はジャージとなり、有り難いと思っています。ただ、夏場の熱中症対策として帽子や日傘の推奨をしてほしいです。こどもに言っても皆がやってないので嫌がります。

	<p>また、通常は教科書の置き勉強をしています、試験前などはかなり重い荷物で10kg近くあります。部活用品や水筒もあり、徒歩でこの重さは辛いと言っています。</p> <p>このような身体への負担は成人でも良くありませんが、成長期の子どもには更に悪影響です。そこで、校内に水筒に補充できる水分補給の設備を作ること、また、教科書はどの教科もかなりぶ厚く学年を跨ぐ物もあるので、重さを考え教科書を分割することを提案します。</p> <p>体育や部活動等で沢山汗をかく子どもたちの熱中症対策としてお願いしたいです。夏場の水道水はかなり温く美味しくないので我慢しがちになります。少しでも快適に心身のストレスを減らすため、子どもたちの現状を把握し改善してあげてほしいです。</p>
回答	<p>現在、市立各中学校においては、軽装なジャージによる登下校や水筒持参による適宜の水分補給、暑さ指数測定による各活動の制限など、生徒の安全を考えた熱中症等への対策を講じているところです。</p> <p>御提案いただいた給水設備の設置については、校内における設置場所の確保や維持管理等の観点から、現時点では予定していませんが、学校現場の意見を聴きながら検討していきます。</p> <p>なお、校内の水道水に関しては、年1回の定期点検を実施し、児童・生徒が安心して使用できる飲料水の確保に努めています。</p> <p>また、登下校の持ち物については、教科書を含め、学校に置くことができるものや持ち帰りが必要なものなど、改めて、持ち物の精選を行っていきます。</p> <p>帽子や日傘などの利用については、効果的な熱中症対策であると認識していますので、利用を呼び掛けるとともに、今後についても、児童・生徒の健康と安全を最優先に考え、これまで以上に熱中症対策に取り組んでいきます。</p>
担当課	学務課、教育指導課

標題	中学生・高校生の登下校時の帽子・日傘使用について
提案の趣旨	<p>恐ろしいほどの猛暑の中、登下校の中・高生が1人も帽子を被っていないことを不思議に思っています。夏休み中でも、正午あたりにクラブ帰りの中学生グループが無帽子で歩いていました。</p> <p>帽子の着用、日傘の使用なども校則として勧める必要があると思います。</p> <p>誰も被っていないからと被らずに行く子どもも多いと思います。昔と気温が違うので、一刻も早い指導が必要だと思います。</p> <p>夏の運動着が黒の学校もあるので、熱を吸収しない色のTシャツの使用を許可すれば良いと思います。</p>
回答	<p>御心配いただいているとおり、昔とは違った猛暑が続いていることから、市立各中学校においては、以前のように制服ではなく、軽装なジャージによる登下校を認め、帽子や日傘の使用を勧めているほか、適宜の水分や暑さ指数測定による各活動</p>

	<p>の制限などの熱中症対策を講じているところです。</p> <p>しかしながら、帽子や日傘などの利用については、生徒にまだまだ浸透しない状況もあるようですので、改めて各学校から声掛けを行うなど、引き続き児童・生徒の健康と安全を最優先に考え、熱中症対策に取り組んでいきます。</p> <p>なお、県立高校に関することについては、県教育委員会が所管していますので、いただいた御提案はお伝えいたします。</p>
担当課	教育指導課

標題	安全に配慮した冬季の防寒着の着用、夏季の帽子着用について
提案の趣旨	<p>先日、学校から保護者に配布された「冬服の確認」に、「ただし派手でないものとする」と記載されていました。</p> <p>先生に、冬季の上着についての学校の見解をお聞きしたところ、学生服に合うような黒・白、紺・茶などの色を推奨（強制ではない）とのお話しでした。</p> <p>学生服に合うように、上品な色を推奨されているのは理解しておりますが、できれば子ども達の交通安全のために、「防寒着は安全を考慮して、夜道で認識しやすいカラーや、反射料を使用したものを推奨する」に但し書きに変更することを厚木市としても働きかけていただけないでしょうか。</p> <p>冬は下校する頃にはかなりうす暗く、黒い制服の中学生は目立ちにくいですが、学校から家には帰らずにそのまま塾や習い事に行ってしまうことも多いです、そもそも部活で遅くなります。</p> <p>夕方以降に車を運転すると、黒い制服は横断歩道を渡っている時も目視しづらく、危険を感じることもあり、日が沈むのが早い冬季に、制服に合うという理由で生徒に地味な色の防寒着を推奨されると、安全面で不安があります。</p> <p>あくまで推奨ではありますが、近年の異常な夏の暑さから身を守るために帽子をかぶること一つとっても、「みんな帽子をかぶっていないからダメなんじゃないか」など勝手な配慮があるように思います。帽子に関しても猛暑の中、中学生が付度なく被ったり日傘を使用できるようにしてほしいと思います。</p>
回答	<p>市立各中学校における生徒の服装については、各学校の実態に応じて設定しており、帽子や日傘の利用、防寒着の種類については、安心・安全に配慮した上で柔軟に対応しているところです。</p> <p>御提案をいただいた夕刻等における自動車等からの視認性の高い服装や反射材の使用についても、生徒が安全に下校する上で、効果的な対策と認識していますので、学校を通じて各家庭に推奨していきます。</p> <p>また、夏の暑さ対策については、軽装なジャージによる登下校や帽子、日傘の利用を呼び掛けるとともに、水筒持参による適宜の水分補給、暑さ指数測定による各活動の制限など、生徒の健康と安全を最優先に考えた熱中症等への対策を講じています。</p> <p>今後についても、児童・生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、</p>

	各学校の代表者が集まる機会を通じて、交通ルールや事故防止対策などの啓発に努めていきます。
担当課	教育指導課

標題	通学助成金について
提案の趣旨	<p>高等学校通学助成金を検討していただきたいです。</p> <p>バス代が高すぎます。バスを使うしかない学生への支援をお願いします。</p>
回答	<p>高等学校については通学の「広域性」という特徴がありますので、御提案をいただいた高校生へのバス通学の補助については、通学手段により、補助が一部の生徒に偏ることなどから、市では通学に対する助成を実施していない状況です。</p> <p>なお、市における高校生を対象とした支援については、経済的な理由により修学が困難な市内在住の生徒を対象に、学業成績や修学意欲などから選考する給付型奨学金事業（久保奨学金事業）を実施しているところです。</p> <p>今後については、いただいた御提案を参考にしながら、保護者の皆様の経済的負担を軽減するとともに、高校生への通学支援について、研究していきます。</p>
担当課	教育総務課

標題	EV 車用急速充電器の設置について
提案の趣旨	<p>各公民館への EV 車の導入や EV 車の普及促進が実施されていると思いますが、小鮎公民館には一般車用の急速充電器が整備されておりません。</p> <p>しかし、他の公民館では整備されているため、小鮎公民館にも是非設置していただき、利便性を図っていただきたいと思い要望しました。</p>
回答	<p>急速充電器については、これまで、市内の公民館 4 か所に設置していましたが、利用の減少や機器の老朽化、家庭での充電器の普及などにより、令和 7 年 1 月 31 日をもってサービスを廃止しました。</p> <p>現時点では、新たに公民館に急速充電器を設置する予定はありませんが、利用者が長時間滞在するぼうさいの丘公園やふれあいプラザに普通充電器を設置しており、施設を利用しながら充電する目的地充電を進めています。</p> <p>今後につきましても、電気自動車利用者の皆様に充電サービスを提供できるよう努めていきます。</p>
担当課	環境政策課

標題	ジモティースポットを厚木市にも導入してほしいについて
提案の趣旨	<p>ジモティースポットを厚木市にも導入してほしいです。</p> <p>今、色んな市でジモティーと連携してオープンされているのですが、市内在住と市外在住とでは利用が異なる為、少し不便です。厚木市にも導入してもらえると、色々な面で市民にも役立つかと思えます。</p>
回答	<p>本市では、循環型社会の形成を目指して、3R（リデュース、リユース、リサイクル）を積極的に推進しており、「市民ふれあいマーケット」を通じて市民の皆様とともに、リユースに取り組んでいます。</p> <p>御提案いただいた、ジモティースポットについては、運営会社が自治体とリユースに関する協定を締結し、リユース品を地域で譲り合う場を提案しているものと認識しています。</p> <p>今後についても、いただいた御意見を参考にしながら、民間事業者と協働し、ごみを減らすとともに、再利用や再資源化をしやすい環境の整備に努めていきます。</p>
担当課	環境事業課

標題	こどもたちが山桜や楓などを種や二葉から育成し、植樹する活動について
提案の趣旨	<p>私は30年ほど前に楓の苗木を買って来て庭に植えました。近年になり、この木の周りのあちこちに楓の二葉が芽吹いているのを見つけるようになりました。恥ずかしながら、私はこの歳になり初めて楓が種から自生することに気付き、芽吹いた二葉に感動を覚えました。私はその二葉のうち幾つかを鉢植え、育てました。結果、3年程で苗は直径1cmくらいまでに育ちました。このような体験をすると、私と同じように感動する人が多いのではないかと思います。そこで小学生がこのような体験をし、その苗木を彼ら自身が山や里に植樹できたとしたら、きっと、彼らにとってかけがえのない思い出と経験になるでしょう。</p> <p>こどもたちにとっては、育苗と植樹を通して自然と植物の生態を学び、さらには生きるということについて考える機会の創出になるかもしれません。この体験をしたこどもたちは厚木の野山に親しみを持ち、厚木を愛する青年に成長してくれるかもしれません。</p> <p>20年もすると山の一角が吉野の千本桜のように、あるいは京都の紅葉のように、山桜やもみじが市内のいたる所で見られるようになり、市民の癒しとなるだけでなく大きな観光資源になる可能性が考えられます。また、これらの活動が順調に進めば、山林の保全にも繋がって行くことも期待されます。</p>
回答	<p>本市では、こどもたちも参加できる森林づくり体験教室を毎年開催し、人工林の枝打ちや間伐、植林などを通して、自然豊かなあつぎを実感し、森林の大切さを学ぶ機会を設けています。</p> <p>また、市立各小・中学校では、学習指導要領に基づく学習の中で、植物を種から育てることや、四季の変化による樹木や植物の成長を観察することなどを行って</p>

	<p>るほか、校地内の畑や花壇で野菜や花を育てたり、水田でお米作りを体験したりする事例もあります。</p> <p>御提案いただいた、こどもたちの育苗や植樹の体験については、自然への関心や植物への愛着を醸成する良い機会になるとともに、こどもたちの道徳性を豊かに養うことにもつながると認識しています。</p> <p>植栽できる場所の選定や植樹後の管理などの課題がありますが、令和6年3月に策定した「ネイチャーポジティブ（自然再興）宣言」に基づき、こどもたちの体験が、豊かな自然環境の保全・回復につながり、次世代へ継承されるよう、引き続き環境教育に取り組んでいきます。</p>
担当課	環境政策課、 農業政策課、 教育指導課

### ●商工業・観光

標題	地域のスーパー要望について
提案の趣旨	<p>下依知地区にはスーパーがありません。</p> <p>国道沿いは大型トラック置き場等になり、付近の道路は大型車であふれ、交通量も増え、危険な地域になりました。</p> <p>また、高齢者の日常の買い物は不便で、免許返納のお勧めもありますが、バスで行くにも遠く、高齢者が住みにくくなりました。</p> <p>長年社会に貢献してきた高齢者が住みにくいまちにならないよう、市として考えていただければと思います。</p>
回答	<p>下依知地区においては、スーパーなどの生活利便施設が不足していることは認識しており、スーパーの新規出店の際に施設整備費など最大1億円を補助する制度を設けることで、地域における生活利便性の向上に取り組んでいるところです。</p> <p>現在は、制度の周知徹底を図っており、関心を示された事業者には直接制度の説明をし、下依知周辺エリアにスーパーなどの生活利便施設を誘致できるよう努めています。</p> <p>今後についても、新規出店等をする事業者の支援に努めるとともに、高齢者や子育て世代などの誰もが地域で暮らし続けることができる「人にやさしい都市」を目指していきます。</p>
担当課	都市計画課

標題	厚木の果物のブランディングについて
提案の趣旨	厚木市には、あつぎ豚や鮎等がブランド化されていますが、農産物で厚木といえばという物がなく、近隣市町村に遅れをとっているように思います。というのも、

	<p>本来は誇れる物があるにもかかわらず、ブランディングができていなかった為、近隣市町村が色々と謳って使えなくなってしまうように感じます。</p> <p>昨今、地産地消に興味を持つ人が増えてきています。特に、馴染みのある地名が入っているものには、応援の気持ちを込めて購入される方もいるのではないのでしょうか。厚木市はすでに色々な取組で名が通っておりますが、果物でも遅れをとらずにアピールしてブランド化しても良いと思います。</p> <p>きっかけはグミの存在です。他市では特産品を使用したグミなどが販売されていて、市をあげてブランディングされているように思います。</p> <p>近隣市町村と被らずに果物の特産がないか考えたところ、りんごやブルーベリー、桃が残っていてグミにできそうかなと思います。「厚木りんごグミ」、「厚木アップル」、「厚木ブルーベリー」、「厚ベリ」、「厚木ピーチ」、「厚木桃」、「厚桃」もしくは、「厚木ミックス」にして、いちご・ぶどう・なし・りんご・桃・ブルーベリーなどをミックスジュースのように味を混ぜるか、色んな味のミックスにするかは要検討です。</p> <p>農家さんと協力してブランディングすれば、新たな特産物としての可能性が見出されると思います。是非、厚木市として果物でもブランド化されたものを作ってもらえたらと思います。</p> <p>ブランド化が実現できれば、農家さんの収入アップや、厚木は豚と鮎だけでなく農産物もたくさんあるというイメージアップにつながり、地元の農産物に興味を持つ住民がさらに増えると思います。</p>
回答	<p>市においては、農産物等のブランド品の開発やPRなどに取り組む団体等に交付金を交付し、現在、当該団体等において、新たな農産物や厚木産の果樹、野菜を使用した加工品等の商品開発などに取り組んでおり、特に、あつぎのイチゴは、贈答用専用ケースを制作するなどイチゴのブランド化に着手しています。</p> <p>また、厚木の豚や鮎をはじめ、市内で生産された加工品などについては、あつぎ食ブランド「あつぎ OEC フード」として認定し、多くの皆様においしさや魅力を広く情報発信しています。</p> <p>頂いた御意見については、魅力あるあつぎの農業を実現させるために有効であると考えておりますので、グミの商品化については、農産物の生産量や果物の選定等に課題がありますが、関係団体と協議し、商品化に向けた研究をしていきます。</p> <p>今後については、引き続き、生産者の皆様や関係団体等と連携を図りながら、魅力ある厚木産の農産物の更なるPRに努め、農産物のブランド化に向けて積極的に取り組んでいきます。</p>
担当課	商業観光課、農業政策課

標題	ももクロ春の一大事について
提案の趣旨	<p>わたしの提案は、ももいろクローバーZ のコンサートを私が生まれ育った厚木市で開催したいです。</p> <p>ももいろクローバーZ は、毎年春に「ももクロ春の一大事～笑顔のチカラつなげるオモイ～」というコンサートを開催しています。2017 年から地方自治体と協働で町おこしを目指すライブとして行われています。開催地となった歴代の自治体同士が「～笑顔のチカラつなげるオモイ～地域連携協定」を締結し、本ライブをきっかけに互いの知名度向上・誘客推進・物産振興などの取組を進めています。</p> <p>2025 年は 4 月 12 日（土曜日）・13 日（日曜日）の 2 日間で開催されることが決定されています。2024 年は京都府亀岡市で行われ、2 日間で計 3 万人が動員され、イベント全体の経済波及効果は約 8 億 3,900 万円と推計されています。2025 年は是非厚木市で開催して厚木市の観光がもっと盛り上がってほしいです。</p> <p>厚木のホルモン、七沢温泉、とん漬け、あゆコロちゃんなど、厚木市の魅力を全国に知っていただくチャンスだと思います。是非、厚木を盛り上げたいです。</p>
回答	<p>御提案いただいた「ももクロ春の一大事」については、町おこしや地域の観光資源、食を楽しんでいただける機会となり、イベント実施後には、自治体間の交流につながるなど、大変興味深いイベントであると認識しています。</p> <p>開催に当たりましては、非常に規模が大きく、会場の確保や警備体制、交通手段の確保などが必要となるほか、今回は、申込期限が間近に迫っていることなどの課題もあります。</p> <p>御提案いただいた内容は、関係機関と情報共有し、今後の市政運営の参考とさせていただきます。</p> <p>また、市の観光を盛り上げたいという、気持ちの込めた御提案に深く感謝するとともに、今後についても、新たな観光資源の創出と磨き上げを行い、市の魅力向上に取り組んでいきます。</p>
担当課	企画政策課、商業観光課

### ●行政一般・その他

標題	郵送書類の窓口での直接受け取りについて
提案の趣旨	<p>市からの郵送書類は数多くありますが、郵送を希望せずに本人が直接役所へ受け取りに行った場合、何らかのメリットが受けられたら良いと思います。</p> <p>配達員の負担軽減や普段あまり外出しない方の出歩く一つのきっかけになることが期待されます。</p>
回答	<p>市においては、日々、市民の皆様に事業の御案内などの様々な通知を送付しています。</p>

	<p>文書の送付については、事業の内容や対象者の状況等を踏まえながら、個人情報保護などの安全性やより安価で効率的な経済性、いち早くお届けするといった迅速性などを考慮し、送付方法を決定しているところです。</p> <p>御提案いただいた内容については、今後の行政運営の参考とさせていただきながら、市民の皆様により良いサービスを提供できるよう、業務効率化や利便性の向上に努めていきます。</p>
担当課	行政経営課、行政総務課

標題	市の鳥について
提案の趣旨	<p>先日のタウン紙で初めて知りましたが、厚木市は市の鳥が未定です。他に載っていた県内の他市等では全て決まっていたので、厚木が未定で寂しく思いました。私は鳥が好きなので、市民からの投票など、今後、何かしらの方法で厚木の鳥が決まると嬉しいです。</p> <p>私が投票するなら、小鮎川で時々目にする「カワセミ」です。第二候補は、メジロです。冬に我が家のムラサキシキブの実を食べにやってきます。ご検討をお願いします。</p>
回答	<p>市の鳥を含めた市のシンボルを制定することについては、市民の皆様の郷土意識や愛着を深めるとともに、豊かな自然と都市が調和した暮らしやすいまちとしてのイメージアップを図る有効な方策の一つであると認識しています。</p> <p>今後についても、いただいた御提案を参考に、市全体としての機運の高まり等も考慮し、市を象徴するにふさわしい鳥について、市民の皆様の御意見もお伺いしながら検討していきます。</p>
担当課	企画政策課

標題	ヒメアマツバメ保護をPRするあゆコロちゃんとのコラボマンホール蓋の設置について
提案の趣旨	<p>先日、テレビ番組で、市文化会館の改修工事において、ヒメアマツバメの巣の撤去から保護に乗り出したという放送に感激しました。</p> <p>厚木市は70周年を迎えます。その記念に、SDG'Sや自然保護の観点から、全国区になったヒメアマツバメの保護活動を生かさない手はありません。厚木市は本厚木駅に公共下水道50周年の2種類のフタを設置しましたが、最近登場が減った「あゆコロ」とヒメアマツバメを描いたマンホール蓋を本厚木駅から市文化会館までの案内板として蓋を設置してはいかがでしょうか。</p> <p>マンホール蓋を新規に多く作成して、観光客の誘致に励んでいる市もあります。厚木市の山や川などの豊かな自然とそれを守る心意気を魅力として発信してはいかがでしょうか。</p>

	<p>新聞社などに声掛けをすれば、大いなる PR にもなります。ぜひ幸せを呼んでくれたヒメアマツバメを活かしてほしいです。</p>
回答	<p>文化会館に営巣しているヒメアマツバメについては、当初、文化会館の改修に合わせて撤去する計画でしたが、県レッドデータの「減少種」かつ留鳥で巢の排除が死滅につながるおそれがあることから、共生する方針としました。</p> <p>今後も文化会館内に観察の場を設けるなど、多くの皆様に親しみを感じていただきながら、ヒメアマツバメを保護できるよう努めていきます。</p> <p>なお、市においては、市域の豊かな自然環境を保全・回復し、次世代へ継承していくため、令和 6 年 4 月にネイチャーポジティブ（自然再興）宣言を表明しています。</p> <p>また、市のマンホール蓋については、令和 6 年 10 月 1 日より公共下水道供用開始 50 周年記念事業として開催したマンホールデザインコンテストの一般部門最優秀賞作品をモチーフとした「鮎と花火」をあしらったものへ約 40 年ぶりにデザインを変更したところです。</p> <p>今後についても、御提案を参考にしながらヒメアマツバメやあゆコロちゃんのデザインのマンホール蓋などを含め、効果的な PR 方法を検討していきます。</p>
担当課	文化魅力創造課、環境政策課、河川下水道施設課